

- 問1 メダカを健康に飼うために、水槽^{すいそう}を置く場所として最も適切な場所はどこですか。
- 問2 メダカのたまごが育って子どものメダカがかかるまでの日数は、何によって変わりますか。
- 問3 たまごから生まれてすぐのメダカの子は、おなかにどのようなものを持っていますか。
- 問4 おすのメダカの「せびれ」には、どのような特徴^{とくちょう}がありますか。
- 問5 メダカを飼う水そうの置き場所として、ふさわしくないものはどれですか。
- 問6 そう眼実体けんび鏡でピントを合わせるとき、最初に行う正しい操作^{そうさ}はどれですか。
- 問7 おすのメダカのひれには、どのような特徴^{とくちょう}がありますか。
- 問8 せびれに切れこみがあり、しりびれの後ろが長く、しりびれの形が平行四辺形になっているのは、どのようなメダカの特徴^{とくちょう}ですか。
- 問9 メダカのたまごの中で、心臓^{しんぞう}や血液の流れがよくわかるようになるのは、受精してから何日目ですか。
- 問10 メダカのめすが水草にうみつける、受精したたまごのことを何といいますか。
- 問11 メダカにえさをあたえるとき、一度にあたえる量はどのようにするのがよいですか。
- 問12 メダカのたまごが受精して2日目になると、たまごの中にはどのような変化が見られますか。
- 問13 たまごからかえったばかりのメダカは、最初^{すいそう}は水槽の中でどのように過ごしますか。
- 問14 メダカを健康に飼うために、水そうを置く場所として最もふさわしいのはどのような場所ですか。
- 問15 双眼実体顕微鏡^{そうがんじつたいけんびきょう}を使って観察するとき、ものの見え方はどのようになりますか。
- 問16 メダカの受精卵^{じゅせいらん}の毛には、どのようなやくわりがありますか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え ちやくしゃにっこう 直射日光の当たらない明るい場所	メダカを飼うときは、水温を適切に保つために、直射日光の当たらない明るい場所に水槽を置きます。
問2	答え 水温	メダカのためごがかかるまでの日数は、育てる水の温度（水温）によって変わります。
問3	答え 栄養の入ったふくらみ	たまごからかえったばかりのメダカの子は、おなかに栄養の入ったふくらみ（袋）を持っています。
問4	答え 切れこみがある。	おすのメダカのせびれには切れこみがあります。しりびれは後ろが長く、平行四辺形のような形をしています。
問5	答え まどぎわ 日光が直接当たる明るい窓際	水そうは日光が直接当たらない明るいところに置く必要があるため、日光が直接当たる窓際はふさわしくありません。
問6	答え 右目だけのぞきながら調節ねじを回す	そう眼実体けんび鏡では、まず右目だけのぞきながら調節ねじを回してピントを合わせます。
問7	答え せびれに切れこみがあり、しりびれが平行四辺形に近い形をしている。	おすのメダカは、せびれに切れこみがあることと、しりびれが平行四辺形に近い形をしていることが特徴です。
問8	答え とくちょう おすのメダカの特徴	せびれに切れこみがあることや、しりびれが平行四辺形になっていることは、おすのメダカを見分けるときの特徴です。
問9	答え 6日目	メダカのためごは成長が進み、受精して6日目になると心臓の動きや血液の流れがはっきりと見えるようになります。
問10	答え じゆせいらん 受精卵	めすが水草にうみつける、受精したたまごのことを受精卵といいます。
問11	答え 食べ残しが出ないくらいの量	メダカのえさは、食べ残しが出ないくらいの量を考えてあたえる必要があります。
問12	答え からだのもとになる部分が見えてくる。	メダカのためごは、受精して2日目になると、たまごの中からだのもとになる部分が見えるようになります。
問13	答え すいそう 水槽の底の方でじっとしている。	かえったばかりのメダカは、おなかにある袋の養分を使って育つため、最初は水槽の底の方でじっとしています。
問14	答え 日光が直接当たらない明るいところ	メダカを飼う水そうは、日光が直接当たらない明るいところに置くのが基本です。
問15	答え 上下左右が実物と同じ向きに見える。	そうがんじつたいけんびきょう 双眼実体顕微鏡では、上下左右の見え方は実物と同じ向きになります。
問16	答え 水草にくっつくやくわり	メダカの受精卵の毛は、たまごが水に流されないように、水草などにしっかりと付着する（くっつく）ためのやくわりがあります。